

製品名: PAR1 (切断型 Ser42) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15736**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	F2R CF2R PAR1 TR
別名	Proteinase-activated receptor 1 (PAR-1) (Coagulation factor II receptor) (Thrombin receptor)
遺伝子 ID	2149.0
SwissProt ID	P25116
免疫原	ヒト PAR1 由来の合成ペプチド (切断型 Ser42) ポリクローナル

背景

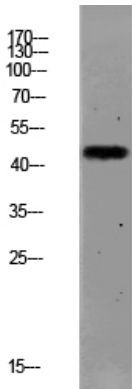
凝固因子 II 受容体は、血栓反応の調節に関与する 7 回膜貫通型受容体です。タンパク質分解による切断により受容体が活性化されます。F2R は G タンパク質共役受容体ファミリーの一員です。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。

[RefSeq 提供、2015 年 8 月],機能: ホスホイノシチド加水分解を刺激する G タンパク質に共役した活性化トロンピンに対する高親和性受容体。血小板の活性化および血管発達に関与している可能性があります。 ,PTM: タンパク質分解による切断により、係留リガンドとして機能する新たな N 末端が生成されます。 ,PTM: リン酸化されており、受容体の解離および内部移行に先立って脱感作を媒介していると考えられます。 ,類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。 ,組織特異性: 血小板および血管内皮細胞。 ,

研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;エンドサイトーシス;補体および凝固カスケード;アクチンおよび細胞骨格を調節します。

画像データ



MCF-7 ライセートのウェスタンブロット分析、抗体は 1000 倍に希釈した。二次抗体は 1:20000 倍に希釈した。